

分科セッション

〔生物学〕 核酸と老化ほか 8

〔臨床医学〕 神経系統の疾患ほか11

〔社会科学〕 健康と老人ほか16

Interdisciplinary 分科セッション

中枢神経系統ほか18

Ⅲ 日本からの参加

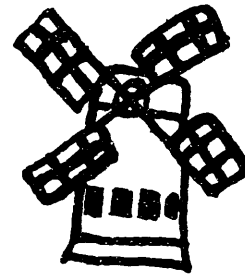
この会議には、日本から生物学、基礎なら
びに臨床医学、社会科学等の研究者が約60名

参加する予定になっている。

なお、日本から参加する研究者は、この会議に出席し、討議に加わった後、1958年にソビエト連邦の Academy of Medical Sciences によって創立されたキエフの老年学研究所やアナハージャ自治共和国（コーカサス山脈の西端）にある、有名な長寿村等を訪問する予定になっているので、各方面にわたり実りの多い成果を得られることと期待されている。

（小寺清孝 東京都老人総合研究所）

オランダの第16回 国際社会福祉会議



第16回国際社会福祉会議は、1972年8月13日から19日まで、オランダの首都ハーグで開催される。隔年ごとに開催されるこの会議は、前回のマニラ会議について70年代における2回目の会議であるが、今回はとくに、西欧—東欧（含ソ連）の雪どけ、拡大ECの発足

等流動化の激しいヨーロッパで開催されるとあって、その意義は大きい。

テーマも「急速な社会変動下における社会福祉政策（social policy）の展開—社会福祉の役割」と銘打たれ、興味深いのが、隔年ごとの国際会議という性格上、後記するように、極

めて広範な内容を含んでいるので、鋭い問題意識で会議を集約することは、決して簡単なことではないだろう。

周知の通り、主催団体である国際社会福祉協議会（略称=ICSW）は、国連経済社会理事会、ユネスコ、ユニセフ、WHO、ILO、FAO、EC、汎アメリカ連盟などの国際団体機関に対する諮問的立場にある常設の国際的民間団体である。しかし、その基本的構成単位である63ヶ国の国内委員会及び加盟国際団体に、社会主義国が殆んど入っていない現実、最近の国際社会の急速な変動にかんがみて、今後の大きな問題のひとつになるだろう。会議の形式は、大体従来通りであるが、より多くの参加者が積極的に会議に参加できるように、前回のマニラ会議で改革された、指定部会・公開部会という二段構えの国際交流部会が、今回も予定されている。

主な会合の構成、機能及び討議テーマは、次の通りである。尚、総会以外の各会合は、同時に並行して開催される。

1. 総会

開会式、閉会式を含んでおり、会議の大枠

を形づくるもので、全員参加。基調講演、各国内委員会報告のハイライトなどを通じて、主題設定やそこから浮かび上ってくる論点が明らかにされる。

2. 一般集会

特定の専門分野の専門家が、会議のテーマに関連して説明や問題提起を行ない、続いてフロアとの質疑応答が行なわれる。誰でも参加できるが、問題をより深く討議したい参加者のために、少人数の会合ができるだけ準備される予定である。

(テーマ)

- (1) 世界の实情——住宅問題
- (2) 世界の实情——生活水準
- (3) 世界の实情——教育
- (4) 世界の实情——児童福祉
- (5) 変動するテクノロジー——社会福祉政策に対する影響
- (6) 社会福祉と国連第2次「開発の10年」
- (7) 社会保障と所得維持政策の新しい発展
- (8) 今後提案されるテーマのための予備

3. 会議作業部会

各国内委員会及び加盟国際団体の代表各1

名ずつで構成され、各国内委員会報告について討議し、社会福祉の世界的状況やそこから浮かび上ってきた論点をできるだけ反映した文書になるように整備する。

4. 委員会

各国内委員会によって指名された1ないし2名の代表によって構成され、少数のオブザーバー参加も認められている。下記の通り、会議のテーマに関連する基本的問題について6つの委員会が構成され、夫々に協議して、報告書の各章を分担作成することになっている。

(テーマ)

- (1) 経済政策と社会福祉政策の統合
- (2) 社会福祉政策の構成要素、範囲及び優先順位
- (3) 社会計画の予防的側面及び社会問題を予測するためのプロジェクトの展開
- (4) 最大限の市民参加、及び少数被差別集団に対する社会的正義を実現するための社会福祉政策の実施方法
- (5) 社会福祉政策の成果に関する評価
- (6) 地域レベルでの社会福祉政策の計画と実施

5. 国際交流部会

指定部会

参加資格者は、各国内委員会及び加盟国際団体によって指定された者に限られ、各部会の規模は約65—70名で、少数の専門家が助言者として参加する。

(テーマ)

相互に競合する要求が存在する分野での社会福祉財政計画ほか17

公開部会

指定部会と異なり誰でも参加できる。

(テーマ)

福祉サービスにおける権利と義務ほか17

以上が会議の主な内容であるが、この外にも、特別集会（官庁代表者の集会など）や地域会議、国際団体会合、映画、施設見学、展示会などのプログラムが予定されている。

尚、会議の前には、オランダ社会福祉セミナー、国際セツルメント連合第11回世界会議（8月5～12日）、国際社会事業学校連盟第16回世界会議（8月8～11日）等の関連集会も開催されることをつけ加えておく。

(冷水豊 東京都老人総合研究所)